

令和 7 年度 創薬サイエンス部門研究支援
長谷 拓明 （大学院薬学研究科）

【研究課題名】

修飾ヌクレオシド m6,6A の免疫学的機能解明とその応用を志向した
自己免疫疾患治療効果の検討

【研究概要】

が本研究では、修飾ヌクレオシド m6,6A の免疫制御作用を解析した。m6,6A 添加により T 細胞の増殖抑制および T 細胞分化プロファイルの変化が認められたが、代謝酵素として目されている ADK の阻害剤存在下ではこれらの作用が減弱し、m6,6AMP 添加によっては同様の表現型が再現された。さらに DSS 誘導性潰瘍性大腸炎モデルにおいて、m6,6A 投与により病態スコアが有意に改善した。